

冬の手芸&時代小説特集

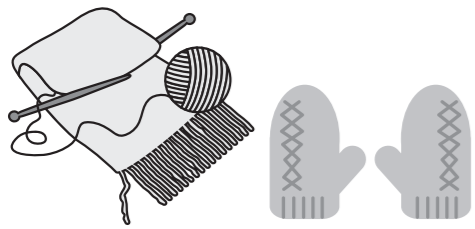
今月の特設展示は、「冬の手芸」「時代小説」特集です。寒さも厳しくなってくるこの季節、本格的な冬に向けて編み物などの手芸はいかがですか？

マフラーやセーターを始めとした本格的な編み物の本や、バッグや小物などのちょっとした手芸の本などの展示を行っています。

他にも、冬の長い夜におすすめ、読み応えバッチリの時代小説も展示しています。

映画化された『のぼうの城』や『天地明察』など、話題の時代小説をたくさん用意しています。

皆さん、ぜひ図書館へお越しください。



児童図書コーナーで本を読む子どもたち

シルトピアカレッジ図書館だよりをご存知ですか？

図書館の特別展示のご案内や新着図書情報などを掲載した図書館だよりをほぼ一カ月に1回のペースで発行しています。図書館はもちろん各公民館、支所でも配布していますので、ぜひご利用ください。



2012 12 December						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

● 休館日 ● 絵本のおはなし会

来月の「絵本のおはなし会」

- **とき** 第1・3(土) ひる2時~
- **ところ** シルトピアカレッジ 図書館内児童図書コーナー
- **おはなしする人** 絵本の会「ゆきんこ」

油木高校 Journal

芋掘りにチャレンジ

9月25日、油木小学校2年生の児童18名と産業ビジネス科2年生13名が、今年度チャレンジ農園の第2回目(芋ほり)を行い、6月に児童たちと一緒に苗を植えたサツマイモを収穫しました。



掘りながら、イモが出てくると大きな歓声があがっていました。

ミツバチを宮城へ

被災地宮城県亘理町のイチゴ農家が、受粉用ミツバチの不足で困っていると知った産業ビジネス科の生徒達が、「私たちにできる支援を」と、耕作放棄地を活用して育てたミツバチを贈りました。ミツバチの運搬には地元町おこしグループの方が力を貸してください、10月4日に出発し、丸1日走り続けて亘理町まで届けてくださいました。



2年生修学旅行



10月9日~12日、3泊4日の日程で2年生が東京方面へ修学旅行に出かけました。天候にも恵まれ、東京スカイツリーやディズニーランド、ルミネ theよしもとのお笑いステージ、都内自主研修など楽しみにしていた日程を満喫して無事に帰りました。生徒アンケートによると一番人気はやはり「夢の国」東京ディズニーランドで、時間いっぱい乗り物やパレードを楽しみました。スカイツリーの天望デッキからの眺めも「最高!」だったようです。そうした中で一番「苦戦」したのが大都会新宿駅での乗り換えです。1日の乗降客が日本一という巨大ターミナルで「迷子」になる生徒も続出!これも良い思い出です。12月には旅の成果をまとめて報告会を行います。



働きざかりの今が肝心!
特定健診を受けましょう!
 ~ 指定の各病院で申し込み受け付中12月末まで実施 ~

平成24年度も国民健康保険にご加入の方で、総合健診の特定健診を受診されなかった40歳以上74歳までの方を対象に10月~12月末まで病院での個別特定健診を実施しています。(該当される方には既にご案内しております。)

特定健診は、メタボリックシンドロームの発見・予防に力を入れた、あなたの健康を守る大切な健診です。特定健診を定期的に受診することによって高血圧や脂質異常・糖尿病などの生活習慣病の早期発見につながります。

健康な生活を送るため、食事や運動など生活習慣の見直しや改善に役立つ情報・支援が受けられる特定健診指導にも、積極的に参加ください。

平成24年度は特定健診・特定保健指導5年実施の第1期最終年度になります。町では特定健診65%、特定保健指導45%の実施率を目標にしていますが、平成20年度、平成23年度の特定健診受診率はいずれの年度も50%に満たない状況です。

特に40~50代では20%後半~40%前後と特定健診受診率が低い傾向にあります。日本人の3人に1人が生活習慣病で亡くなっています。そのリスクは若いうちから積み重なっています。健診を受けなければ早期発見できません。今のうちに自分の問題点と向き合っ、早めに改善し、重症化させないためにも、毎年特定健診を受けて元気に長生きを目指しましょう!

※病氣治療中の方は受診の有無を主治医に相談の上お申し込みください。

神石高原町 特定健診受診率

	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	全体
平成23年度	28.0%	29.7%	36.9%	44.0%	43.7%	50.2%	51.4%	45.8%
平成22年度	28.2%	32.3%	37.2%	39.2%	50.1%	52.5%	54.8%	48.5%
平成21年度	25.7%	31.4%	40.1%	40.5%	49.8%	52.5%	57.4%	49.6%
平成20年度	-	-	-	-	-	-	-	45.2%

保健福祉センターだより

お問い合わせ
 保健課
 ☎89-3366



原因はあなた自身の餌付け

みなさんの集落で年々被害がひどくなるなら、その原因は集落のみんなで餌付けを進めている以外に原因はありません。

集落総出で何キロもの柵を設置したのに被害が止まらないというのは、その柵が餌付けを進めてしまう設置方法、管理方法になっていくからです。柵が出来れば動物は必ず柵にそって歩きます。人間の都合で、道路など一箇所でも閉鎖できない箇所を作ってしまうとその柵は、平気で集落内の道路を歩くことを教え、彼らの餌場を広げるだけの餌付け柵です。

餌付けされた動物は遠い山ではなく集落内に潜みます。

潜み場を無くしたり、追い払いもせず、いきなり柵を設置してしまうと、最初からサアリアパークですよね。

駆除の場合、箱ワナに来ていたのは親イノシシなのに、足跡サイズも確認せず最初にウリ坊をとってしまったら、親イノシシを餌付けするだけのことになります。

作っている人は見ているだけ、動物が来たら駆除を頼むというのは、里に定住するサルを増やすだけの餌付けだということも知っておいてください。

特集 知ってからやる獣害対策(2)

広島県鳥獣被害対策スペシャリスト

井上 雅央

えい通信

お問い合わせは 産業課 ☎89-3337

